

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	生体温度で発電可能な温度差電池のウェアラブルデバイスへの応用
研究担当者(所属・役職・氏名)	九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門 准教授 星野 友

1. SCORE での活動目的

本プログラムでは、生体温度付近において世界最高レベルの起電力および変換効率が得られる温度差電池をベンチャー事業化し社会実装するための準備・検証を行う。具体的には、保有する特許・技術を踏まえ市場調査、特許調査、事業・特許戦略の立案を行い、温度差電池をウェアラブルデバイス等を実装・販売するビジネスプランを作成する。また、電子デバイスメーカーを想定顧客としてヒアリングを行い、さらにプロトタイプを作製することでビジネス面および技術面の両面からこの技術の実用可能性を検証する。

2. 総合所見

事業化仮説に基づいたヒアリングを行い、発電機能をウェアラブルにするというユニークな製品を見出した点を評価する。ニーズが高い分野であるため、経営者人材の獲得を積極的に進めて、事業化を実現することに期待する。

以上